

品番：S9-**** 品名：GENGEN eLF エクステカラー

(水性木材保護塗料)

仕 様 書

玄々化学工業株式会社

ホルムアルデヒド放散等級

木材保護着色塗料 国土交通省告示対象外建材 放散等級 F

認定番号：日塗検第 08003 号 認定機関：(財)日本塗料検査協会

特長

木材の防腐、防カビ効果に優れています。

強い撥水効果により長期間木材を美しく保護します。

木材によく浸透し木の呼吸を妨げません。

環境に配慮した水性系でほとんど臭いがなく、どなたにも簡単に塗装できます。

水性のため不燃性で、引火性がない。

TVOC 0.1%未満

学校環境衛生基準適合

用途

屋外木部全般着色塗料

塗装方法

刷毛塗り

ご使用上の注意事項

天気の良いよく晴れた日に塗装して下さい。屋内で作業する場合には窓などを締め切らず風通しの良い場所で塗って下さい。

使用中は、手袋などをして皮膚につかないようにして下さい。

使用後は、手洗い(うがい)をして下さい。

容器からこぼれた場合には砂などを散布した後に処理して下さい。

雨・雪の日や湿度が85%以上の日には、塗装を避けて下さい。

缶を開けたとき違った色に見えることがありますが、問題はありません。ご使用前に底から均一になるようよくかき混ぜて下さい。

本品は、他の塗料がすでに塗装してある面には適しません。また、プリント合板・デコラ板などの吸い込みのない化粧合板などにも塗れません。

子供の手の届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないように注意して下さい。

植物や動物にかからないように注意して下さい。

残った塗料は、ふたをして直射日光や - 5 以下の場所を避けて保存して下さい。
本来の用途以外に使用しないで下さい。

カラーバリエーション

原色		配合蝕	
品番	色名	品番	色名
S9-10	カラレス	S9-1100	ライトグレー
S9-1000	ホワイト	S9-2900	レッドウッド
S9-1500	ブラック	S9-3500	オーク
S9-2000	レッド	S9-3700	チーク
S9-2700	ブラウン	S9-3900	パイン
S9-4000	イエロー	S9-4900	メイズ
S9-6000	ブルー	S9-5900	グリーンアンバー
		S9-7500	オールナット

塗装工程

適用範囲：屋外木部全般(未塗装の場合)

仕 様：水性 着色仕上げ

工程	使用材料 / 配合比 (重量比)	塗布量 (1回)	塗り重ね 乾燥時間 (20)
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180 ~ P220	
2	下塗り	eLF エステカラー(S9 ライン) 100	40 g ~ 60 g / m ² 1 時間以上
3	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320 ~ P400	
4	上塗り	eLF エステカラー(S9 ライン) 100	40 g ~ 60 g / m ² 24 時間以上

仕 様：水性 着色クリヤー仕上げ (撥水性仕上げをご希望の場合)

工程	使用材料 / 配合比 (重量比)	塗布量 (1回)	塗り重ね 乾燥時間 (20)
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180 ~ P220	
2	着色	eLF エステカラー(S9 ライン) 100	40 g ~ 60 g / m ² 1 時間以上
3	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320 ~ P400	
4	着色	eLF エステカラー(S9 ライン) 100	40 g ~ 60 g / m ² 1 時間以上
5	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320 ~ P400	
6	上塗り	eLF エステカラーカラレス(S9-10) 100	40 g ~ 60 g / m ² 6 時間以上

仕 様：水性 着色クリヤー仕上げ（耐候性仕上げをご希望の場合）

工程	使用材料 / 配合比（重量比）	塗布量 （1回）	塗り重ね 乾燥時間 （20 ）
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180～P220	
2	着色	eLF エクステカラー（S9 ライン） 100	40 g～60 g/m ² 1時間以上
3	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320～P400	
4	中塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m ² 6時間以上
5	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320～P400	
6	上塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m ² 24時間以上

塗替えの場合：十分に研磨して旧塗膜を完全に除去して下さい。

塗装工程はそれぞれ上記塗装工程を参照して下さい。

ユートン AQUA（SC-91/92/93）はF 適合品です。

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので目安として下さい。

メンテナンス（仕上りの良し悪しは下地の調整で決まります。）

POINT1. よく洗う

泥などの汚れをブラシやタワシなどを使って水洗いします。このとき、細かな部分にこびりついたり、隙間に入り込んだ泥などもかき出しましょう。その後、日の当たる場所でよく乾燥させます。

POINT2. 充填剤の使用

割れやヒビがあるときは、その部分をパテまたはポリウレタン系充填剤などで埋めておきます。

POINT3. クギの打ち直し

板がそってクギが浮き上がっている場合は、新しいクギでとめておきます。板が割れているときは、同じ厚みの板をその部分の大きさに合わせて、クギでとめて下さい。

POINT4. 古い塗膜の処理

粗目のサンドペーパー（80番ぐらい）等でこすって古い塗膜をはがして下さい。場合によっては水洗いして下さい。その後よく乾かしてから塗装して下さい。

POINT5. マスキング

塗りたくない部分はあらかじめマスキングしておきましょう。マスキングは、養生シートや新聞紙を使うと便利です。

注意事項

塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所に保管して下さい。(凍結しない場所)

ご使用前には塗料を十分攪拌してからご使用下さい。

塗布量が多すぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますのでご注意下さい。又、塗布量が少なすぎると、塗料の性能が十分出ない可能性があります。標準塗布量を遵守して下さい。

塗布量は、素材の種類によって異なりますので、あくまでも目安として下さい。

塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックス等を除去してから塗装して下さい。

5 以下でのご使用は避けて下さい。(乾燥時間が著しく遅くなります)

塗装時に使用した道具は、温水石鹼で洗浄後、溶剤(アセトン)にて洗って下さい。

どのような場合でも換気に十分注意して下さい。

決して飲まないようにして下さい。もし、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。

目に入らないようにして下さい。目に入った場合は、直ちに大量の水で目を洗い医師の処置を受けて下さい。

皮膚についた場合には、石鹼で水洗いして下さい。

初めて本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。

他社製品との併用での不具合については、一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

商品の改良のため中身、仕様等は予告なしに変更する場合があります。

製品の取り扱いに当たっては、安全データシート(SDS)に従って下さい。

廃棄方法

少量の場合には、吸収材(新聞紙等)に染み込ませ乾燥後適切な場所に廃棄して下さい。

量が多い場合には、専門の処理業者に依頼して廃棄して下さい。

水路や下水道には流さないで下さい。